

リーディングDXスクール事業【実践事例】

上板町立東光小学校（徳島県）【指定校】

【取組内容①】 個々にあった文章づくり－「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実－

3年生：国語科「東光食べ物のひみつの本をつくろう」～「すがたをかえる大豆」を読んで～

本校では、自力解決する力の育成をめざして学習している。学習課題に対する自分の考えや思いをまとめ、クラスの友達に伝え合うことにより、個別の学びを深め合う一体的な充実を図る。

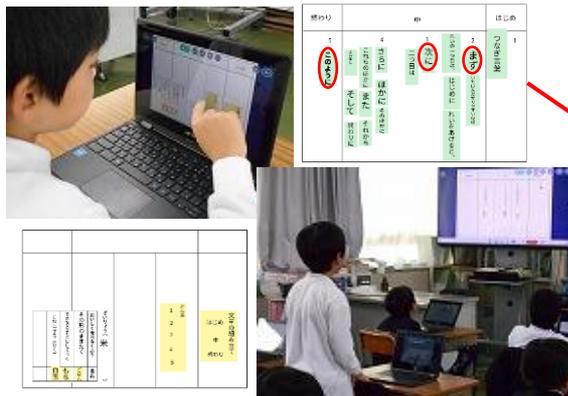
ねらい

- 学習課題の自力解決を促すために、学習支援ソフトを活用し、個々の興味・関心・意欲を引き出しながら、自分の意見をまとめ、考え方を深めることができるようにする。
- 「協働的な学び」の場で、他の児童の意見を理解することを通じて視野を広げ、表現方法が豊かになり、個別の学びを充実できるようにする。

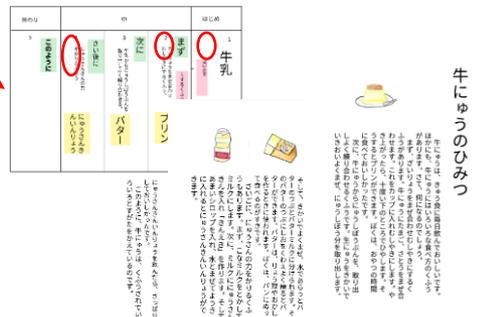
「個別最適な学び」
自分の興味・関心・友達に知らせたいことから、食べ物を選択する。



「協働的な学び」
分かりやすい文章の組み立てや書き方を話し合い、クラスで共有する。



「個別最適な学び」
協働的な学びで分かったことを生かして、自分の文章の組み立てを作成し、食べ物のひみつの文章を書く。



「協働的な学び」
自分の作った食べ物のひみつの説明文を読み合い、感想を伝え合う。

クラスみんなの説明文を一冊の本にまとめる。

牛にゆうのひみつ

考察

- 自分の考えを整理してまとめることで、分かりやすく伝える力を育成することができた。
- 自分の考えや思いを出し合い、協働的に学ぶことで、他者の異なる意見や考えを知り、自分の考えや思いが深まったり広がったりした。その結果、初めて書く説明文を作成する際のサポートになったり、友達の文を参考にしたりすることができた。
- 令和時代の文房具として、GIGA環境を高い頻度で活用したが、3年生としての書く力を身に付けさせるためには、書く時間とのバランスが重要だと考える。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

上板町立東光小学校（徳島県）【指定校】

【取組内容②】クラウド上での共同編集によるスライド作成－情報活用能力の育成－

4年生：総合的な学習の時間「伝えよう！藍のステキ！！」

本校の4年生は、体験や見学を通して、地域の伝統である「藍」について学習している。学習してきたことを、3年生や他校に発信するために、グループに分かれてスライドを作成した。

ねらい

- ・ 体験や見学から得た学びを学習支援ソフトに記録することで、児童が自ら学習記録を整理できるようにする。
- ・ クラウド上での共同編集を通じて、一人一人およびグループの作業の進め方を教師や児童同士が把握しやすくする。
- ・ 聞き手に分かりやすく伝えるポイントを意識させ、情報発信の際に大切なことに気付かせる。

学習支援ソフトの記録から、
情報を得てスライドを作成する。

僕は藍建てをして心にのこったことが2つあります。1つ目は、さんが藍建ての仕方を教えてくれたことと、材料の名前を教えてくださいました。材料の名前はすくも・ふすま・石灰・灰汁です。すくもは灰みたいなおいがして、黒色でした。ふすまは、お湯とまぜると小麦みたいになりました。さんが材料をいれる順番などを教えてくださいました。すくもを15kg入れ、ふすまを150g入れて石灰を200g入れました。藍建てをするときに、「横にまぜずに、たてにまぜた方が良いです。横でまぜると、すくもが下にしずんでしまうよ。」と教えてくださいました。コツをわすれずにしたいです。

藍建ての仕方

- ・ まず、大きなバケツに水をいれます。
- ・ 次に、すくも15kg、ふすま150g、灰汁、石灰200gを入れます。
- ・ 次に、水をいれて、まぜていきます。

グラフィックデザインツールを用いて、
同じグループの児童と共同編集する。ポイントをおさえて作成し直した
スライドをクラスで共有する。

ろうけつ染め

- ①紙に好きな絵をかく。
- ②①でかいた絵をハンカチにうつすようにチャコペンでなぞる。
- ③チャコペンでかいたハンカチを木の板の上においてぎょうで固定する。
- ④電子ろう容器にろうを入れるうがとけると筆にろうをつけてハンカチになぞったチャコペンの上になぞる。



修正後

ろうけつ染め

- ①紙に好きな絵をかく。
- ②①でかいた絵をチャコペンでなぞる。
- ③チャコペンでかいたハンカチを固定する。
- ④筆にろうをつけて、チャコペンの線をなぞる。

考察

- ・ スライド作成を通して、自分たちの学びを整理して、分かりやすく発信する力を育成することができた。
- ・ 共同編集をすることで、分担箇所の進捗を確認し、必要に応じてサポートしたり、他のグループを参考にしながら作業を進めたりすることができた。
- ・ 分かりやすくまとめることよりも、デザイン性の高いスライドを作ろうとする児童が多かったため、デザイン性の高さとは分かりやすさの違いについて、気付かせることが必要だと考える。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

上板町立東光小学校（徳島県）【指定校】

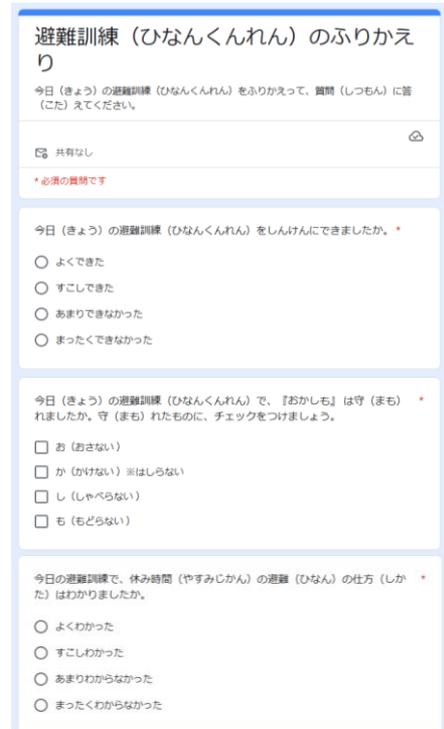
【取組内容④】 アンケート機能の活用－校務DX－

ねらい ・ アンケート機能を活用することで、集計する手間を省き、教員の業務削減につなげる。

毎月児童に対して行っている「いじめアンケート」に学習支援ソフトのアンケート機能を利用している。

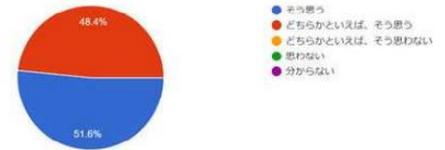


避難訓練のふりかえりをGoogleフォームで行った。

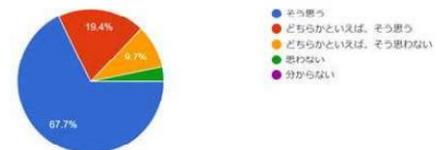


児童・保護者・教員に向けた「学校評価アンケート」をGoogleフォームで行っている。

学校は、教育目標や教育方針、子どもたちの活動...校ホームページで、分かりやすく伝えている。
31件の回答



学校は、緊急連絡や行事のお知らせ等の情報を、適切に伝えている。
31件の回答



学校は、災害や不審者等から、子どもを守る安全教育に取り組んでいる。
31件の回答



考察

- アンケートを紙媒体から電子媒体に移行したことにより、回答の管理や集計の手間を省くことができた。
- 集計結果が瞬時に分かるため、分析やまとめ作業にすぐに取り組めるようになり、負担軽減になった。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

上板町立東光小学校（徳島県）【指定校】

【取組内容④】 チャットの活用－校務DX－

ねらい

チャットを活用し、教職員の働き方改革につなげる。

《活用内容》

- 終礼の連絡事項の周知
- タスクの割り当て
- 連絡事項の伝達

終礼の連絡事項の周知

- 12/16 終礼
1. 送迎時の駐車場について 保護者に配布済 ※資料参照
 2. 無線設備点検について ※資料参照
12月17日(火) 15:00~16:30まで
児童下校と重なるので 気をつけるよう声かけを
 3. 学年委員決定 ※資料参照
 4. とくしまGIGA推進月間 ※資料参照
東光小のってました
 5. 学期末に向けて 学習 生活 先生方の報告書類等

タスクの割り当て

- (ToDo リスト経由)
- タスクを作成して [ユーザー] さんに割り当てました
- 県小体連カリキュラム研修会出欠報告
- (ToDo リスト経由)
- タスクを作成して [ユーザー] さんに割り当てました
- 特別支援教育に関する調査
- (ToDo リスト経由)
- タスクを作成して [ユーザー] さんに割り当てました

連絡事項の伝達

- 12月5日, 12:45 • 編集済み
- 連絡
1. 12月1日~12月31日まで、「冬のコンプライアンス推進月間」となっています。
12月12日(木)の個人研修や放課後等を活用して、27日までに、e-ラーニングのコンプライアンス研修を各自実施してください。
- [PDF] 05_【別紙2】e-ラーニング研修の受講...
- 12月6日, 金曜日
- 12月6日, 12:07
- 12月11日13:30~歯科検診があります。
先生の外国語の関係で当日順番が変更になるかもしれません。
順番が近くなりましたら呼びに行きますので、数人ずつ来室させてください。
※昨年度は1時間程度で終了しました。

考 察

チャットを活用することによって

- ペーパーレス化により、コスト削減や環境保護等のメリットがあった。
- 終礼の内容を事前に知らせることができるようになり、開始時刻、時間配分等が事前に考えやすくなった。
- タスクの割り当てにより、職員の業務が明確化し、計画的に作業を進められるようになった。
- 終礼が無い日でも連絡が可能となり、変更があった際も瞬時に伝えることができた。
等の改善が見られた。

